

# 一般会計は628億円

令和2年度予算案が3月定例会市議会で可決されました。今回は、予算の概要や主な使い道などについてお知らせします(1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない箇所があります)。

本市の財政は、空港関連税収を背景として全国有数の財政力を有し、各種財政指標からも判断されるように財政の健全性が維持されています。

しかし、将来を見据えて取り組んでいる大規模な普通建設事業の進捗や超高齢社会の到来などにより、公債費や扶助費などの義務的経費が増加傾向にあります。また、公共施設の更新や長寿化へ対応するための多額の財政負担が見込まれることから、より効率的な財政運営が求められています。

そのような中、今年度の予算編成では、行政改革推進計画の確実な実践により、さらなる経費節減に努めるとともに、成田市総合計画「NARITA みらいプラン」の第2期基本計画の初年度となることから、新たな4年間の目標や取り組み方針を掲げ、引き続き「若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり」「医療・福祉の充実したまちづくり」「空港と共に発展するまちづくり」という3つの方向性に基づく施策を着実に推進するため、限られた財源を重点的・効率的に配分しました。

今年度の当初予算は、一般会計は628億円で、前年度と比較すると22億円(3.6%)の増額、特別会計と水道事業会計等合わせた予算総額は、957億4,165万円、000円となり、前年度より24億9,438万9,000円(2.5%)の減額となっています。

## 市税の内訳



固定資産税

205億4,030万円



個人市民税

83億 622万円



法人市民税

31億3,550万円



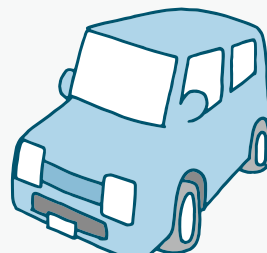
市たばこ税

11億4,718万円



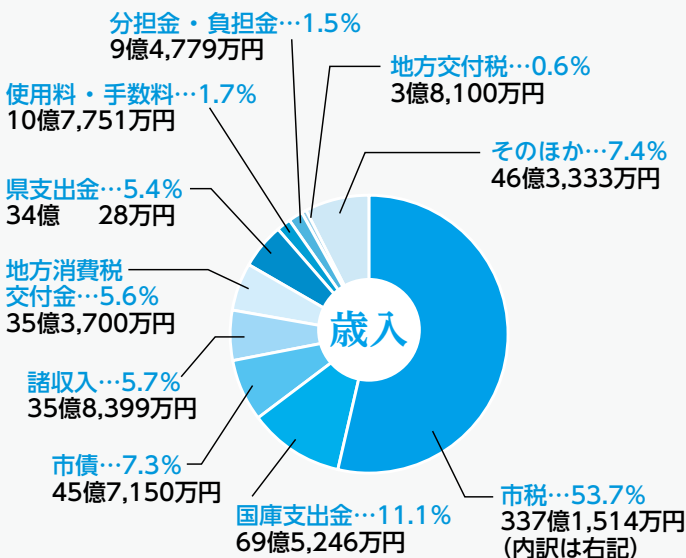
都市計画税

2億1,005万円



その他(軽自動車税など)

3億7,589万円



## 一般会計歳入

# 628億円

市税(全体の53.7%)は337億1,514万円で、前年度と比較すると3億5,214万円の増収となっています。国庫支出金(同11.1%)は69億5,246万円となり、6億2,467万円の増額、市債(同7.3%)は45億7,150万円で、7,100万円の減額となっています。

### 市民1人が納める市税は約25万円です

市民の皆さんが今年度に収める予定の市税の内訳は、右記の通りです。これを市民1人当たりへ換算すると約25万円となります(市税予算額337億1,514万円÷令和2年2月末日現在人口13万2,697人)。

## 特別会計

226億3,156万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のあるときに設ける会計です。市では、次の6会計を設けています。

### ①国民健康保険(事業勘定)

125億2,660万円

被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに対し、必要な保険給付を行います。

### ②国民健康保険(施設勘定)

1億1,095万円

医療サービスの向上を図るため、国保大栄診療所で被保険者などに対し、診療を行います。

### ③公設地方卸売市場

6億3,935万円

青果物、水産物、生鮮食品などを安定した価格で供給し、市民生活の向

上を図ります。

### ④介護保険

79億 382万円

被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。

### ⑤農業集落排水事業

1億9,609万円

下総・大栄地区の農業集落に排水施設を整備し、生活環境の改善を図ります。

### ⑥後期高齢者医療

12億5,473万円

後期高齢者医療制度加入者の保険料徴収や保険証の交付などを行います。

## 地方公営企業会計

103億1,009万円

地方公営企業会計として3会計があります(各会計とも収益的支出と資本的支出を合計した額)。

### ①水道事業

47億9,813万円

水道施設を整備し、安全で安心な水

の安定供給を行います。

### ②簡易水道事業

5億 560万円

水道施設を整備し、下総・大栄地区の一部への安全で安心な水の安定供給を行います。

### ③下水道事業

50億 637万円

都市排水施設の整備を行い、生活環境の改善を図ります。



新鮮な魚が卸される成田市場

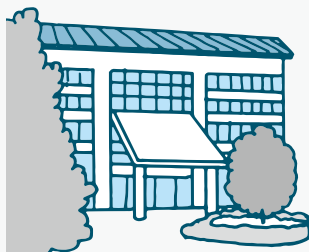
## 市民1人当たりの歳出の内訳



民生費 15.0万円



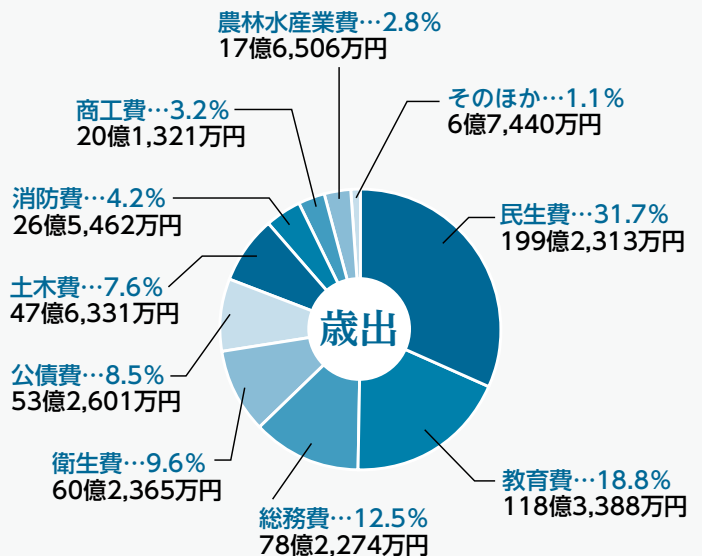
教育費 8.9万円



総務費 5.9万円



土木費 3.6万円



## 一般会計歳出

628億円

歳出の目的別分類では、民生費が前年度比12億5,418万円増の199億2,313万円(全体の31.7%)で最も多くなっていて、児童手当支給事業、生活保護扶助費、私立保育園等運営委託事業などに充てられます。2番目は教育費で、前年度比5億4,983万円増の118億3,388万円(18.8%)となり、大栄地区小中一体型校舎建設事業、学校給食事業、(仮称)東小学校パークゴルフ場整備事業などに充てられます。3番目は総務費で、前年度比1億2,217万円減の78億2,274万円(12.5%)となっていて、民家防音家屋等維持管理費補助事業、航空機騒音地域補助事業、ケーブルテレビ視聴エリア拡大事業などに充てられます。

市民1人当たり約47万円が使われます

今年度、市民の皆さんに使われる予定の歳出の内訳は左記の通りです。市民1人当たり約47万円となります(一般会計予算額628億円÷令和2年2月末日現在人口13万2,697人)。

衛生費 4.5万円

公債費 4.0万円

消防費 2.0万円

工商費 1.5万円

農林水産業費 1.3万円

そのほか 0.5万円